

特記事項「美作大学の生き残り戦略」＝この地域に大学を残すための戦略

本学は、岡山県北部の美作地域唯一の大学である。しかしこの地域（自宅通学圏）の18歳人口は1000人そこそこであり、進学率を加味すると本学への進学対象者は500人程度と見積もられる。その中で美作大学の募集人員（大学3学科で210人）を満たすことは困難であり、地域外から学生を集める必要がある。人口密集地域の岡山市、倉敷市も自宅通学圏外であり、本学類似学科がひしめいていることから、本学の生き残りが可能かどうかは、県外から学生を集めることができるかどうかにかかっている。つまり県外から学生を集めなければならない宿命にある。現在のところ、図に示したように在學生（短大を含む）は県外67%となっており（2020年時点）、県外からの学生募集に成功している。



県外から学生を集めることを可能にする大学づくり

①教育の美作大学

教育力：国公立大学以上の国試合格率

就職力：就職率はもとより専門職就職率と出身地就職率を高める

面倒見の良さ：地域に支えられる大学生、アットホームな面倒見。この空気が、勉強意欲を支え、地域人材を育てる→退学率が極めて低い

②広報力を磨く

知名度アップ 子どもからお年寄りまで誰でも歌える美作大学の歌。♪保育士、社会福祉士、管理栄養士、教師♪ みまさかだいでーがく♪ 読みづらい地域名を冠した本学の名前からは、どのような専門教育を行っているのか分からないが、このCMにより名称だけでなく教育内容を知らない人はいない状況を生み出した。

教育成果を具体的に広報 官尊民卑の土地柄の中で、国公立大よりもむしろ高い教育力をもっていることをデータで伝える。

津山に立地する大学の利点の広報 地域の課題を知り、地域の良さを知る教育は、地域の暮らしの現場との交流ができる地方大学の独壇場であることを、膨大な実績（地域がキャンパス）から伝える。